

令和元年度 緑ヶ丘公園運動施設 管理運営実績シート

内容	計画及び実績等						
事業計画概要	<ul style="list-style-type: none"> 敷地内草刈、周辺清掃、花壇整備 窓ガラス清掃及び床等定期清掃 自主消防訓練 ・自主事業の開催 日常的に「皆様の声を聞かせてください」の用紙により要望・意見を聞いて館の運営に反映させる 利用者にアンケート調査を実施（11月） 						
利用実績	実績			目標			
	ハイランドスポーツセンター 22,163人 野球場（3球場合計） 26,586人 庭球場 60,997人 サッカー場 47,169人 陸上競技場 14,118人 合計 171,033人	ハイランドスポーツセンター 22,991人 野球場（3球場合計） 41,176人 庭球場 35,060人 サッカー場 34,280人 陸上競技場 18,897人 合計 152,404人					
利用者満足度	利用者アンケート結果						
	ハイランドスポーツセンター 野球場 庭球場 サッカー場 陸上競技場 合計	満足 68.4% 70.1% 69.4% 70.3% 92.9% 74.2%	やや満足 22.4% 23.3% 27.8% 24.3% 5.6% 20.7%	やや不満 5.2% 4.2% 2.5% 4.4% 0.7% 3.4%	不満 2.6% 0.3% 0.1% 1.0% 0.1% 0.8%	未回答 1.4% 2.1% 0.2% 0.0% 0.7% 0.9%	
事業費（自主事業を除く総額）	収入						
	費目 指定管理費 利用料金収入 その他収入 合計	予算 153,855,000円 11,771,000円 172,000円 165,757,000円		決算 153,855,000円 15,445,790円 0円 169,300,790円			

	支 出		
	費目	予算	決算
	人件費	85,646,000 円	85,517,120 円
	光熱水費	36,871,000 円	24,365,614 円
	燃料費	7,628,000 円	5,711,795 円
	修繕費	5,234,000 円	5,950,918 円
	委託費	9,328,000 円	3,400,814 円
	その他物件費	10,939,000 円	7,524,401 円
	※税、一般管理費除く		
	合計	155,646,000 円	132,470,662 円
自主事業内容	実 績	計 画	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイランドスポーツセンター大会開催時等における飲食物の提供 ・ハイランドスポーツセンター(リンク)開場時間の延長 ・ハイランドスポーツセンター(ローラースケート)開場時間の延長 ・緑豊建設杯テニス大会 約 80 人 ・サッカー場早期開場 ・緑豊建設杯 U-9 サッカー大会 約 600 人 ・キッズサッカーフェスティバル 約 400 人 ・サッカーしたい子あ〜つまれ! ・陸上競技場早期開場、開場期間延長 ・陸上競技場オープニングイベント 150 人 ・高野連支部予選大会写真撮影 ・苫小牧フットボールパーク 約 800 人 ・親子ラグビー教室 約 150 人 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイランドスポーツセンターオープニングイベント 冬期営業時間延長 貸スケート靴事業 冬期売店の設置 ・野球場 高野連選手権大会選手写真撮影 春季早期開場 ・サッカー場 サッカーフェスティバル キッズフェスティバル ラグビー教室 ・陸上競技場 オープニングイベント 春季早期開場 夏季営業時間延長 秋季営業時間延長 	
事業計画の内、未実施の事業	なし		
職員研修等の実施内容	実 施	計 画	
	法令順守及び事故防止の研修会 危機管理と災害時の研修会 自衛消防訓練（各施設） 定期安全会議 公共スポーツ施設の管理教育	防災訓練・事故対応訓練 緊急対応マニュアル研修 指定管理業務基本研修 接遇研修・苦情対応研修 コンプライアンス研修 個人情報保護研修 人権研修・障がい者対応研修 専門分野研修（リンク管理・芝生管理）	

	実 施	計 画
配置人員	正規職員 5人 嘱託職員 1人 臨時職員 12人 パート 5人	正規職員 8人 嘱託職員 10人 パート 6人
指定管理者独自 で行った工夫、 取組等	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイランドスポーツセンターでは、リンク面の破損個所の修繕や石垣の修繕を行い、施設の品質向上に努めた。また、一般の利用者と競技者の利用時間を分けて行うことで安全性の確保に努めた。競技者の要望に応え、営業時間の延長についても協力的に行った。 ・野球場では、古くなったホームベースの再利用やグラウンド整正工事を自社で行うなど、経費削減に努めた。 ・庭球場では、自主事業にて大会を開催し施設の魅力向上や利用者数増加に寄与した。 ・サッカー場及び陸上競技場では、利用者の要望に応え、通常4月から10月の開場期間を延長しサービス向上及び利用者数増加に寄与した。 <p>全体を通して、芝草管理技術者3級や公認体育施設運営士など実用的な資格取得により施設管理能力の向上に努めた。また、ホームページで、予約や施設の状態確認、予約状況の確認ができるようお知らせするなど、利用者サービスの向上に努めた。更に受付を一元化し利用者にはわかりやすく、管理費の削減にもつなげた。</p>	